

## 月館町史蹟いろは歌

い——いつも見上げる小杉の森は、町の象徴 月見館（月見館）

ろ——論より証拠だ、見せたいものは、下手渡藩主のおん墓所（藩主墓地）

は——花咲く森の館山城、昔のままに馬がえし。（館山城址）

に——西に東に館跡あつて、住みし時代の人しのぶ（西館、東館）

ほ——堀つて見たいな陣屋の跡を 懐古の石碑あるあたり（立花陣屋）

へ——へんな梵字が書かれた石に 古谷地薬師のよろい塚（古分地薬師）

と——とんでもないぞい田んぼの畦に 武士がたてたる山の神（山神碑）

ち——ちつとやそつとで出来ない仏 三淀ヶ入の磨崖仏（磨崖仏）

り——りつぱに揃つた聖者のすがた 寺の十六羅漢様（十六羅漢）

ぬ——ぬれて帰つて又来て見たい 岫の最滝水しぶき（最滝）

る——るすの間に子どもいばが、ころりなくなるいば地藏（いば地藏）

を——をがめば女がご利益うける、春日神社の道祖神（道祖神）

わ——わくを埋めた古墳の松が、きょうも緑の色冴える（わく塚）

か——亀を埋めてきずいたとりで、大内手渡の亀居館（亀居館址）

よ——世にも稀なる機織り姫の その名もゆかしご前堂（御前堂）